

ウエルハーネスだより

237号

理事長からのことば

寒い日が続いたと思うと、4月並みの気温になったりと相変わらず落ち着かない天気が続いています。それにしても雨が降りませんね。多摩川上流の小河内ダムは底が見えています。水不足かと思ったら、東京の水は8割が利根川・荒川水系なので今の所大丈夫だそうです。

さて、衆議院選挙は自民党の圧勝でした。ちょっと勝ちすぎかなと思う人が多いのではないのでしょうか。アメリカ大統領選と言い今回の衆議院選挙と言い、今までとだいぶ様相が変わった気がします。政策論を始めとした理屈ではなく、イメージ、雰囲気决定着まっているような気がします。

選挙の結果にあれこれ言う気はありませんが、一つ心配なのは外国人に対する締め付けが厳しくなるのではという点です。一部問題のある外国人がいるのは事実です。しかし、現在の雰囲気は全ての外国人を対象にしようとしている気がします。移民政策を止めろという声もあります。しかし、本当にそれでいいのでしょうか？今や多くの産業が外国人労働者なしでは成り立ちません。当法人でも20名以上の方が働いていて、職員全体の2割程度になっています。今後、さらに日本人の労働人口が減っていきます。外国人に働いてもらわないで、どうやって産業を成り立たせようというのでしょうか？

何か勘違いしている方が多いようです。外国の方々が進んで日本に来たがっていると。以前にも書いたと思いますが、フィリピンやインドネシア、ベトナムといった英語に慣れ親しんでいる国は、アメリカやカナダ、オーストラリア等を志向します。難しい日本語を勉強するよりはるかに楽です。ドイツのように国を挙げて現地で語学教育をし、資金援助をして受け入れている国もあります。韓国や台湾といったアジアの国々も制限を軽くして積極的に受け入れています。さらに円安の問題もあります。日本で働いたお金を母国に送金しようとしても、円安のため目減りします。円安の影響を受けないのはミャンマー、ネパール、バングラディッシュといった国くらいです。

当法人の外国人職員に聞くと、日本を選んだ理由は「差別がない、治安が良い、アニメにあこがれる」が圧倒的でした。ただでさえ手続きが面倒でいつまでいられるかわからない特定技能実習制度、難しい日本語といった点を承知して来てくれて

上尾市向山1-14-7
社会福祉法人 竹柿会
TEL: 048-782-0575
FAX: 048-782-0590
令和8年2月25日発行

いる外国人たちにさらに厳しい制限を加えたら、そんな面倒な国に誰が行こうと思うでしょう。一時の雰囲気外国を締め出せと言っている人々は、この国の将来をどうしようとしているのでしょうか？

高市総理は安倍晋三元総理を政治の師と仰いでいるようです。安倍晋三さんというと確かに強引に政策を推し進めました。また、統一教会、モリカケのような闇の部分もあります。しかし、その一方懐の深さと優しさを持っていたようです。公明党の山口那津男元代表からは「安倍総理はお優しい」「公明党は安倍政権に要らないのでは」と聞くと、自民党だけでは見方が一方向だけになる、違った見方の方が政権にいた方がいいんだ」と聞きました。元立憲民主党の原口一博元議員はかつて大病して入院した時、安倍総理が見舞いに来て、「早く元気になって、また国会で国のために議論しよう」と言ってくれたことが心の支えになったと言っていました。当法人には多くのミャンマー人が働いてくれています。日本で暮らすミャンマー人たちを支援してくれたのも安倍晋三さんだったそうです。それを今は安倍昭恵さんが引き継いでいます。当法人のミャンマー人の中にも安倍昭恵さんにつながりがある人がいます。

ぜひ、高市総理にも安倍晋三さんのような優しさと寛容性、多様性を見習い、他国の方からも尊敬を集める総理になってもらえればと切に願います。

1～2月の行事

デイサービスでは、節分のレクリエーションやバレンタインのおやつ制作、お雛様の制作等が行われました。また、ギター演奏や尺八演奏のボランティア様にもお越しいただきました。

特養では節分のレクリエーションやお誕生日会等が行われました。

2～3月の予定

デイサービス、特養ともに、雛祭りにちなんだレクリエーションや制作、お誕生日会等さまざまなレクリエーションを企画しております。

2月の行事食 ～節分～



- ☆ちらし寿司
- ☆つみれ汁
- ☆五目豆
- ☆春菊の和え物
- ☆フルーツヨーグルト



分節

